

サービスホールからのお知らせ

- ◆ サービスホール展示館は、毎月第1水曜日と年末年始を除いて毎日開館しています。原子力発電所のしくみや構造、柏崎刈羽原子力発電所の地震・津波対策の状況を、スタッフがパネルや模型を使ってご案内していますので、どうぞお気軽にご来館ください。
- ◆ また、以下の日時に「ミニ説明会」を開催していますので、ご希望の方は、この機会に是非ご来館ください。（事前予約は不要です）

<ミニ説明会概要>

- **日時** 3月18日(日)13時30分～（1時間程度）
4月1日(日)13時30分～（1時間程度）
4月15日(日)13時30分～（1時間程度）
- **内容** 福島第一原子力発電所事故の状況
柏崎刈羽原子力発電所の地震・津波対策
ストレステストの概要 など
- **場所** サービスホール受付前ロビー（20席程度）
※参加者多数の場合は、サービスホールシアターにて開催。
- **お問い合わせ**
サービスホールフリーコール
0120-34-4053（9時～16時30分）



サービスホール外観



受付前ロビー

（お申し込み欄）

みなさまの声を聞かせください
1. 「放射線」について、ご質問がございましたら、お聞かせください。

2. 発電所に対して、その他ご意見・ご質問がございましたら、お聞かせください。

ご協力ありがとうございました

2012年3月18日発行（H23-R-2）
編集発行責任者
柏崎刈羽原子力発電所
広報部企画広報グループマネージャー
〒945-8601 柏崎市青山町16番地46
☎0120-120-448
（フリーコール：月～金曜日 9～17時）

発電所ニュース

原子力防災訓練を実施しました。

- ◆ 3月9日に原子力災害を想定した訓練を実施しました。この訓練は、原子炉施設保安規定並びに原子力事業者防災業務計画に基づき、毎年1回総合的な訓練を行っているものです。
- ◆ 当日は、発電所長をはじめ所員約300名が参加しました。
- ◆ 今回は、福島発電所で発生した事故を踏まえ、「大規模地震により原子炉が全号機停止し、大津波により全交流電源を失う」という想定のもと、災害対策要員がそれぞれの役割を十分に認識し、これまでに配備した設備や機器を適切に取り扱い対応することができるかなどについて訓練を行いました。
- ◆ 今後も緊急時の対応力の更なる強化に努め、「災害に強い発電所」づくりを進めてまいります。



免震重要棟内の緊急時対策本部で
情報収集を行い指示を出します



がれき撤去車によるがれき（積雪で模擬）撤去訓練
（緊急用車両の通路などを確保します）



電源ケーブル布設訓練
（原子炉と燃料プールに注水するポンプに電源を供給します）



空冷式ガスタービン発電機車の起動訓練
（高台にある緊急用高圧配電盤を通じて各プラントへ送電します）

はがきでお寄せいただいた「声」にお答えします。

● 今回は「放射線」についてのご意見・ご質問にお答えします ●

Q. 放射線を受けると体にキズが残るのですか？

A. 放射線は一度に大量に受けると人体に影響が出てきます。少量の場合は、回復能力により元通りになります。

人体が放射線を受けると、体内の細胞で一番重要な染色体の中のDNAが損傷を受けます。しかし、人体にはこの損傷を修復する機能が備わっており、放射線の量が少ない時には、ほとんど修復されます。まれに、DNAの損傷が修復されない場合でも、人体にはこの傷をもった細胞を自然消滅させる機能があることから、影響が蓄積されることはほとんどありません。

なお、放射性セシウムの場合には、体内に取り込んでも体の代謝作用により徐々に排泄されるので、いつまでも溜まっているということはありません。

Q. 放射線は風に影響されるので、発電所の風向情報を公開してほしい。

A. 発電所ホームページで公開しています。

放射性物質は気体や微粒子の状態です。風で運ばれることが多いと言われます。風で運ばれた放射性物質は、雨と共に一部が地上に落ちます。このため、原子力発電所からの距離だけがそのまま空気中の放射線量の高さに関係するわけではありません。風向きの影響を受け、特に風下や雨が降ったところで比較的高くなります。

発電所では、気象観測を連続的に行っています。

先月号でご紹介した「モニタリングポスト」の測定値などとともに、ホームページの「リアルタイムデータ」で公開しています。



リアルタイムデータ

Q. 放射線は目に見えないので不安。農作物へ影響を与えているのではないのでしょうか？

A. 発電所周辺地域の水や野菜など、定期的に調査しています。

発電所構内のモニタリングポストで放射線を24時間監視するとともに、発電所周辺の海水、水道水、米、牛乳、サザエなどを場所を決めて定期的に採取して、その中に含まれる放射性物質の種類や量を測定しています。

なお、これらの測定は、新潟県でも実施されており、東京電力が実施した測定結果とともに「新潟県原子力発電所周辺環境監視評価会議」で評価され、定期的に公表されています。

ちなみに、新潟県が発電所の周辺11カ所に整備しているモニタリングポストで測定している放射線については、柏崎市役所や刈羽村役場のロビー、インターネットなどで最新データをご覧になれます。

今後もみなさまの声にお答えしてまいります。

【シリーズ】放射線のはなし②

～自然界からの放射線～

◆ 私たちの周りには、自然界の放射線が存在します。

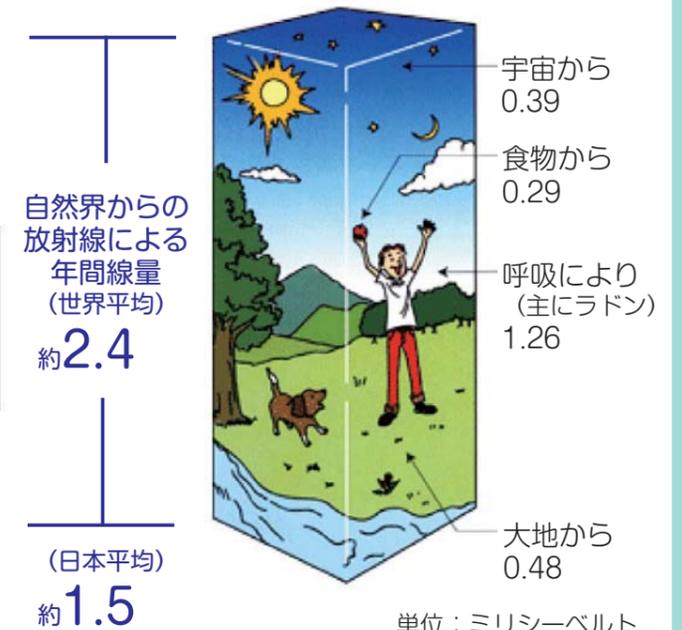
◆ 宇宙から降りそそぐ放射線、大地から出る放射線、食物にも放射性物質が含まれており放射線が出ています。



◆ また、空気中にはラドンという放射性物質が存在し放射線を出しているなど、常に私たちは、微量の放射線に囲まれて生活しています。



◆ ちなみに、東京～ニューヨーク航空機旅行(往復)で約0.2ミリシーベルトの放射線を受けます。高度が高くなるにつれ、宇宙からの放射線を多く受けるためです。



◆ なお、ブラジルのガラパリでは、1年間に大地などから10ミリシーベルトの放射線を受けるそうです。これは、土壌に含まれるトリウムを含むモナザイトという石(鉱物)の影響と言われています。また、インドや中国などにも放射線の量の多い地域がありますが、がんなどの病気が多くなっているという事実は確認されていません。

こちらのはがきで
ご意見・ご質問を
お寄せください。

お電話番号
ご記入いただきました個人情報については、質問などへの回答、紙面づくりの参考以外では使用いたしません。
(2012年3月号)

ご住所〒

お名前

年齢 歳 男・女

差し支えなければご記入ください



945 8790 4

東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所
広報部 行
(柏崎支店私書箱53号)

柏崎支店
承認
15
差出有効期間
平成25年3月
31日まで
(切手不要)

郵便はがき
945 8790

料金受取人払郵便